

本箱

Books column

本学の先生方が執筆された新刊情報。
授業の中だけでは見られない
先生の違った一面に触れることができます。



三宅 真(経営学科非常勤講師)著
『Q&Aで読み解く 情報通信技術の進化』
近代科学社Digital 2019年11月 2600円
情報通信技術の進化を追いつながら、主要なポイントをQ&A方式で学ぶ。情報通信システム、情報通信ネットワーク、情報通信機器、情報通信技術がどのように働いているのか(How)に加えて、それらが何を目標として(What)、なぜ発明されたのか(Why)についても丁寧に解説。



伊豆田 俊輔(ドイツ語学科准教授)訳
(ウルリヒ・メーラート 著)
『東ドイツ史 1945-1990』
白水社 2019年11月 2800円
東ドイツ研究の第一人者による通史の決定版! 指導者や政党など政治的な動向を中心に、「分断国家」の変遷をたどり、一般読者や学生に分かりやすく解説。図版も多数収録。原著は数多く改訂を重ねる基本図書。



片山 亜紀(英語学科教授)訳
(ヴァージニア・ Woolf 著)
『ある協会』
エトセラブックス 2019年11月 1000円
若い女性たちがいつものようにサロンに集っていたある日、「私たちって本当に男性よりも劣っているの?」と疑問を抱く。彼女たちは「協会」を結成、文学界、法曹界などの男性社会に潜り込んだのちに報告し合うことになり…。血湧き肉躍るフェミニスト冒険譚。



金子 芳樹(英語学科教授)共編著
『「一帯一路」時代のASEAN』
明石書店 2020年1月 2800円
中国の大国化・強国化を象徴する「一帯一路」構想は、中国の世界戦略の軸として国際社会に多大な影響を及ぼしている。その中でも特に動きの激しい東南アジア諸国やASEANとの関係に注目し、最新情勢を含めて多面的に分析する。



岡村 圭子(言語文化学科教授)著
『団地へのまなざし』
ローカル・ネットワークの構築に向けて
新泉社 2020年1月 2700円
戦後、高度経済成長の歩みとともにあった「団地」は、私たちの社会の歩みの記録であり、現在の問題を映し出す鏡であり、未来を見通す羅針盤でもある。草加松原団地をフィールドに、団地のなかで今まさに起こっていることを、日本社会が直面している課題と捉える。



高橋 均(総合政策学科教授)共編
『契約用語 使い分け辞典(改訂版)』
新日本法規出版 2020年1月 3500円
契約用語や関連する用語の正しい使い方を解説! 違いを使用例や図を用いて簡潔に示している。民法(債権法)改正を踏まえ、全面的な内容見直しを行った最新版。単なる用語解説にとどまらない実務で使える1冊。



原 成吉(英語学科教授)著
『アメリカ現代詩入門』
エズラ・パウンドからボブ・ディランまで
勉誠出版 2020年1月 3500円
伝統的な西洋の詩とはまったく異なる、独自の発展を遂げてきたアメリカ詩。次々と生み出される型破りなスタイルは、文学の世界のみならず、他の芸術分野にも大きな影響を与えてきた。アメリカ現代詩を代表する19人の30作品を丹念に読み解いた最良の入門書!

■ 獨協大学ニュース「本箱」欄に掲載する 新刊情報をお寄せください。

本学教職員(非常勤講師含む)が執筆した単著・共著・分担執筆・監修・翻訳書などの新刊情報を募集しています。
新刊がありましたら、中央棟2階総合企画課までご持参ください。表紙撮影後、返却いたします。